

# がんばろう！東北

緊急情報／防災情報

平成23年4月12日16時30分  
東北地方整備局

## 【防災情報】（記者発表）東北地方整備局地震災害情報（第65報）

国土交通省東北地方整備局は、平成23年3月11日14時46分に三陸沖を震源とする地震が発生したため、災害対策本部（非常体制）を設置しました。

東北地方整備局の対応状況は次のとおりです。

### 1. 地震概要

発生日時：平成23年3月11日14時46分  
震源：三陸沖  
規模：マグニチュード9.0  
地震名：「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」  
大津波警報：青森県日本海沿岸  
(3/12 13:50津波注意報に切替、3/12 20:20に解除)  
青森県太平洋沿岸、岩手県、宮城県、福島県  
(3/12 20:20津波警報に切替、  
3/13 7:30津波注意報に切替、3/13 17:58解除)

### 2. 4/10～4/12の主な対応の状況について

・堤防沈下により河川の緊急復旧工事を行っていた下記2箇所において、復旧盛土等を実施し、緊急復旧工事が完了（詳細は別紙-2）。

江合川左岸14km付近（宮城県遠田郡涌谷町上谷地地内）：復旧延長約650m

江合川左岸21.8km付近（宮城県遠田郡美里町平針地内）：復旧延長約220m

### 3. 4月12日の点検状況

#### 【へりによる点検】

本日は、防災へり1機により福島県内の砂防関係状況調査を実施。

#### 【現地での点検】

（河川・ダム・砂防・海岸関係）

・河川、ダム、砂防（積雪により点検不可な176箇所を除く）、海岸関係について点検終了。

（道路関係）

・国道6号（原発地域を除く）、45号の点検を継続。

（港湾関係）

・4/11の余震による点検終了。施設に異常がないことを確認。

（営繕関係）

・余震による施設点検を実施。

### 4. 被災情報及び復旧状況

#### 【河川関係】

・5河川（阿武隈川・名取川・北上川・馬淵川、鳴瀬川）、1,190箇所（クラック、天端陥没、法崩れ、堤防沈下）。詳細は別紙-1。

・堤防の流出や堤防の天端の沈下等が確認された箇所について随時緊急復旧工事に着手中。詳細は別紙-2。

・3/28から北上川（石巻市釜谷地区）で排水ポンプ車15台により排水を実施。

### 【道路関係】

- ・全面通行止め：2路線16箇所（6,45号）
- ・本線片側交互通行：2路線2箇所（6,45号）
- ・三陸沿岸都市等へのアクセスとなる15のルートが、太平洋沿岸に到達。
- ・気仙大橋（岩手県陸前高田市）や小泉大橋（宮城県気仙沼市）などの仮橋設置を実施するとともに、さらに、損傷箇所における本復旧を推進。
- ・詳細は別紙-3。

### 【港湾関係】

- ・10港湾（八戸港、久慈港、宮古港、釜石港、大船渡港、石巻港、仙台塩釜港（仙台港区）、仙台塩釜港（塩釜港区）、相馬港、小名浜港）にて防波堤損壊等を確認。詳細は別紙-4。
- ・太平洋側10港については、係留施設が復旧し、一部施設による緊急物資輸送対応が可能となった。詳細は別紙-5。

### 【官庁施設】

- ・3月11日の地震で被害が確認された施設については、二次被害防止の安全対策等を指導済み。
- ・引き続き余震による被害状況を確認。

### 【国営みちのく杜の湖畔公園】

- ・地震による被害のため、当面みちのく公園は閉園。

## 5. 緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）の活動状況

TEC-FORCEは、4/11までに延べ3,992名が活動。

#### （被災状況調査）

- ・河川、道路、海岸、下水道、建築物の公共施設（要請のあった自治体施設含む）について、4/11までに延べ826班2,379名（3/13～4/11）を派遣し、被災状況調査を実施。本日は、海岸の被害調査等を実施。
- ・港湾関係については、4/7までに延べ65班236名を投入。

#### （通信支援）

- ・衛星通信車、Ku-SATによる衛星通信路の確保、被災現場の映像伝送等の支援のため、4/11までに延べ453班507名（3/13～4/11）を派遣。

#### （応急対策）

- ・排水ポンプ車、照明車等による行方不明者の搜索活動及び早期復興への支援、浸水区域の排水計画検討等のため、4/11までに延べ437班870名（3/12～4/11）を派遣。

## 6. 協定に基づく各種団体の対応状況

- ・建設業協会連合会との協定に基づき、延べ1,282チーム、11,992人、5,910台を投入。

（道路：延べ794チーム、5,383人、機械2,422台）

（河川：延べ488チーム、6,609人、機械3,488台）

- ・日本埋立浚渫協会等との協定に基づき、現在は船団を10港（八戸港、久慈港、宮古港、釜石港、大船渡港、石巻港、仙台塩釜港（仙台港区）、仙台塩釜港（塩釜港区）、相馬港、小名浜港）に投入し、航路啓開作業を実施。
- ・防災エキスパート（（社）東北建設協会、（社）関東建設弘済会、（社）北陸建設弘済会、（社）中部建設協会、（社）近畿建設協会、（社）中国建設弘済会、（社）四国建設弘済会、（社）九州建設弘済会）が、管内の9事務所及び自治体において災害対応の支援を実施。  
（延べ1,419名、内自治体へのリエゾン396名）

## 7. 県・自治体等への応援

- ・リエゾンを宮城県庁、岩手県庁、福島県庁ほか、各県の市町村(15市7町2村)を含め計67名を派遣。
- ・防災ヘリ画像の提供や照明車などの各県が不足している資機材を提供。
- ・石巻市から要望のあった給水車については現在稼働中。
- ・要請を受け、排水ポンプ78台、照明車44台、対策本部車8台、待機支援車16台、衛星通信車7台、Ku-SAT15台が移動及び稼働中。

<記者発表先：宮城県政記者会、東北電力記者クラブ、東北専門記者会>

問い合わせ先

東北地方整備局	TEL:022-225-2171(代)
[総括]	企画部長 川嶋 直樹 (内線3111)